

令和5年度 国語科「現代の国語」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A～H組
教科書	新編 現代の国語(数研出版)	副教材等	巻頭増補版最新国語便覧(浜島書店) 高校生の語彙と漢字(桐原書店)

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	論理的な文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉える。	「目指す世界の地図を作る」	「目指す世界の地図を作る」の読解を通して、筆者のものの見方や感じ方を理解するとともに、自己を見つめ、自己の生き方を模索するきっかけを得る。	・小テスト ・行動観察 ・記述点検、確認
5	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。	「わかりやすく話す」 話題について2分間スピーチをする	＜言語活動＞ペア学習・班学習 ・本文中から、わかりやすいと感じる表現や親しみを感ずる表現を見つけ出し、それがどのような効果を及ぼすか話し合う。 ・話題の「説明」と「理由」を、相手が聞き取りやすいように班で発表する。	
6	・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。	「評論の読み方」 「指示語」「対比」に注意	評論文の基本的な読解法として「主題」と「主張」を分けることの重要性を学ぶ。 ＜言語活動＞班学習 ・ペア学習 接続語が果たす役割についてワークシートを解いて理解する。 ・評論文の基本的な読解法として「対比」をとらえることの重要性を学び、指示語が果たす役割について理解する。更に、聞き取った情報から「主題」と「主張」、「対比」を整理する。	・ワークシート分析 ・小テスト ・行動観察
7	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	論理的な文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉える。	「水の東西」	『水の東西』の読解を通して、論理的な文章における二項対立的な思考について理解する。 ＜言語活動＞班学習 『水の東西』と「無常のリズム」を比較し、西洋文化と対比された日本文化の特徴や、筆者の意図を読み取り、発表する。	・行動観察 ・記述点検、確認
	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。		期末考査	教科書 p.27 p.63～65 p.50～55	期末考査
9	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	論理的な文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈する。	「世間話はなぜするか」	「世間話」という身近なコミュニケーションに関する文章を読み、社会的な関係作りによどのような影響を及ぼすのか理解する。更に「ウラ前提」「ウラ結論」についてワークシートを解いて確認する。 ＜言語活動＞班学習 筆者の主張を踏まえた上で、他者と自分との関係性について自分の意見を持ち、それを具体例を用いて説明する。	・ワークシート分析 ・小テスト ・行動観察
10	・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。	「接続語」	＜言語活動＞班学習 接続語が果たす役割についてワークシートを解いて理解する。	
11	・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	「表現の工夫を読み取る(新聞)」	読む順序やリード文など、新聞の構成と形式を理解する。 ＜言語活動＞班学習 ・班ごとにテーマを決定し課題資料を参考にし、伝わりやすい形式・表現を積極的に工夫し、適切に記事をまとめる。 ・図書館やPC室を利用し、必要な資料を集める。	・記述点検、確認 ・ワークシート分析 ・行動観察
	・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深める。	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使う。	「語感トレーニング」	・日本語が重層的な言語文化であることを学び、類義語の語感の違いを識別することの重要性を理解する。 ＜言語活動＞班学習 同じような意味の、語種が異なる語を複数挙げ、語感の違いについて話し合う。	・記述点検、確認 ・行動観察

12	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。	「里山物語」 期末考查	「自然」と「人工」という二項対立の中間に位置する「里山」について段落の展開に沿って理解する。 ＜言語活動＞ペア学習 一方は段落の内容を相手に伝え、もう一方はそれをメモを取りながら聞き、より分かりやすく説明する。 教科書 p.109 p.89 p.94～100 p.56～62	・記述点検、確認 ・行動観察 期末考查
1	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫することができる。	論理的な文章の内容や二項対立型の構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉える。	「科学と非科学」 学年末考查	・論理性に着眼して評論を読み解く方法を学んで筆者の考えをまとめる。 ・「科学」と「非科学」「似非科学」の特徴を理解し、「科学とは何か」自分なりの意見をもつ。 ＜言語活動＞ディベート 筆者の主張に賛成(反対)し自分の考えを述べる。 ・情報の読み取り方と、その妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めるとともに、情報を分析し、自分の考えを文章にまとめる。 ＜言語活動＞班学習 資料から読み取った分析と自分の考えを、根拠を明確にして説明する。 教科書p.112～117 p.160～163	・ワークシート分析 ・小テスト ・行動観察 ・記述点検、確認 ・行動観察 学年末考查
2	目的に応じて文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考える。	「グラフをもとに話し合う」 学年末考查	・情報の読み取り方と、その妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めるとともに、情報を分析し、自分の考えを文章にまとめる。 ＜言語活動＞班学習 資料から読み取った分析と自分の考えを、根拠を明確にして説明する。 教科書p.112～117 p.160～163	・記述点検、確認 ・行動観察 学年末考查
3	目的に応じて文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考える。	「グラフをもとに話し合う」 学年末考查	・情報の読み取り方と、その妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めるとともに、情報を分析し、自分の考えを文章にまとめる。 ＜言語活動＞班学習 資料から読み取った分析と自分の考えを、根拠を明確にして説明する。 教科書p.112～117 p.160～163	・記述点検、確認 ・行動観察 学年末考查

3 評価の観点

知識・技能	ア言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 イ話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ウ常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 エ実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 オ文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。 カ比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。
思考・判断・表現	【話す・聞く能力】 ア目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 イ自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ウ話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 エ論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 オ論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 【書く能力】 ア目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 イ読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ウ自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 エ目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 【読む能力】 ア文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 イ目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。
主体的に学習に取り組む態度	1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようとしている。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」から評価する。また、評価の方法については、定期考査の成績、作成した表現物、授業中に実施する小テストや評価テスト、授業への参加度等を評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

・休み時間に教科書等を準備して、その日の学習を確認し、チャイム前に着席しましょう。 ・授業に主体的に参加しましょう。発表や話し合い、表現物(ワークシート、ノートなど)なども評価対象です。 ・提出物等は期限を守って忘れずに提出しましょう。 ・普段から予習・復習の学習習慣を身につけましょう。 ・授業は必ず国語辞典(電子辞書可)を用意し、学年の辞書を借りたら、授業後すぐ返却しましょう。
